

環境と人にやさしい最新技術

特許出願中

「サイディングプレカット」

工期短縮、騒音解消を実現 新連載【全5回】

(資料提供) 株式会社 エスピー技建



せいゆうグループ(株)エスピー技建
代表取締役 山本守厚 氏

四国発！サイディングプレカットが全国のビルダーと工務店の注目を集めている。完全な寸法で現場に納入。現場でのサイディングの切断はゼロ。ノコギリが要らない革新的な工法で工期は大幅に短縮される。何よりもあの不快な騒音、キューインという電気ノコギリで硬い素材を切る時の耳をつんざくような騒音が減る。しかも、狭小地住宅でまきちらされる粉塵もゼロ。今ではタイル工事は少なくなっただけで粉塵の大半はサイディングだ。現場でのカットがなくなると、ご近所迷惑の騒音や粉塵の問題が大幅に解消されるのだ。でも本当にできるの？サイディングプレカットと聞いて、耳を疑うプロの業者は少なくないだろう。

「大手のハウスメーカーが試して、どこも成功しなかったはずだ。今さら上手くいくはずはない！」プレカット工場でカットした躯体を運んでくると、寸法や仕様が間違っていることは珍しくない。ましてや外装ともなれば、躯体がどこどころで調整されているのだから合うはずがない……。それがこれまでの業者の常識だった。論より証拠。株式会社エスピー技建の山本守厚代表取締役は、5年あまりにわたって蓄積されてきたノウハウを語る。

「サイディングのプレカットは平成17年からやっています。もともと住宅屋だったので、どうもホコリと工期の問題がひっかかるなど思ってたエスピー技建という専門の会社を立ち上げてはじめてました。この数年で工場カットの体制も固まって、今では自社物件だけでなく工務店のお客様からも注文も頂くようになりました」年間150〜200棟を手がける愛媛県松山市の住宅会社がおすすめるサイディングプレカット。次回からは、その工法の内容とノウハウについて4回にわたって紹介する。

